

令和3年第3回総務企画常任委員会会議録

1. 日 時 令和3年3月2日(火)
2. 場 所 白井市役所東庁舎4階議場
3. 議 題 (1) 議長からの諮問事項について
4. 出席委員 石井恵子委員長・田中和八副委員長
長谷川則夫委員・竹内陽子委員
岩田典之委員・血脇敏行委員
中川勝敏委員
5. 欠席委員 なし
6. 会議の経過 別紙のとおり
7. 議会事務局 議会事務局長 石井治夫
主 査 萩原靖殖
主 事 補 小原陽子

会 議 の 経 過

開会 午後3時48分

※序盤未録音、会議開始後血協委員の発言途中から記録。

○血協敏行委員 ……一度議員で公文書管理条例に関わる、そういうものを設置するかどうかに関わるために、現状の勉強会みたいなのをやった記憶があります。もう、2年以上になるんですかね。岩田さん記憶にございますか。

○石井恵子委員長 確か平成30年です。

○血協敏行委員 そうですか。そういうのをやった記憶があつてですね、それからずっと、今に至っているんですが、あれからもう時間もかなり経過していますので、いまですね、確かにコロナ禍それからワクチン接種等で執行部、大変な中ではございますけども、せつかくこの総務の常任委員会のメンバーの中でそういう話が一番最初出ているので、このメンバーのうちに一度、あれから時もある程度経過しているのでも市の今の現状ですとかそういうものを、確認するというのはおかしいんですけど、研修会みたいなのを、委員会、或いはプラス他の議員の方にも状況によっては声をかけてやるのもひとつかなという、考えた結果でございます。じゃあ、いつやるんだっていうんですけど、今年度中にやるというのはたぶん、もうちょっと、もうとても無理な話なので、この委員の構成の時に一度そういう研修会、勉強会みたいなのをやったらいいのではないかなと、考えたところです。以上です。

○石井恵子委員長 ありがとうございます。血協委員、あの、今日3月2日で、3月17日が閉会日になります。そうすると、このメンバーの時ということになると今月中ということになりますよ。血協委員。

○血協委員 この委員構成で、いつまでなのかなって、まだはっきりとわからないんですよ。3月の末日じゃないことは確かです。状況によっては6月に、ちょっとこの辺がまだ定かでないんですが、3月中にこの委員会メンバーが変わるということはちょっと想定しにくいので、4月、閉会して年度が替わって、まあ、年度初めになるとまた執行部の皆さんもまた忙しんでしょうけども、まあ、あとは皆さんのご意見で、じゃあ4月上旬にやろう、中旬にやろう、いや下旬に使用にしよう、いや3月中にやっちゃおうよっていうような、これは皆さんの意見、それから執行部の方にも、これ、聞いてみないとならないんで、委員会からそういう申し出があつても、うちはやるきね一よって言われちゃえば、もうそれまでであるのかなと思うところです。以上です。

○石井恵子委員長 他はいかがですが。岩田委員。

○岩田典之委員 これは正規の委員会ですか、協議会ですか。

○石井恵子委員長 委員会です。

○岩田典之委員 委員会を開くって言ったんだっけ。正規の委員会に則って。

○石井恵子委員長 予算審議のそのままの継続のままになってます。継続のままのつもりでいましたけど。

○岩田典之委員 私の個人的な意見ですけども、我々常任委員会の任期は2年間ですよ。2年間で次の委員がまだ決まらないときは、その次の委員が決まるまでは継続するというふうになっていると思います。で、一応2年間ですけども、次の議長選挙があつて、それから委員会の希望をとつてですね、正式な委員会が決まって始まるのがたぶん5月に入ってからだと思うんです。ただですね、それまでの期間この今議会が3月の17日までで職員の方も人事異動とかがあつて定まらないし、我々も今ね、先ほど血脇委員の方から4月の上旬でも一回説明を聞くというような話がありました。というよりも、もしですね、公文書管理条例のことを担当職員に聞くのであれば、全員だと思うんですけども、その人事異動でね、その職員が、詳しい職員が配置されるのか、新しくそこに行くのかつてことも不明ですし、やはり聞くのであれば、我々常任委員会の委員だけじゃなくて、全員か若しくは新しく総務常任委員会に選任されたメンバーでですね、今の我々から申し送りをして新しいメンバーでやられた方が、私はいいいんじゃないかなと思います。以上です。

○石井恵子委員長 すみません、先ほど総務常任委員会を閉会しましたと言っちゃいました。

ただいまより、第3回総務企画常任委員会を開会いたします。継続してやっているかと思つたら申し訳ありませんでした。さっき閉じちゃつてました。第2回総務企画常任委員会。いいですよ、記録が残っているから大丈夫だそうです。血脇委員。

○血脇敏行委員 今、岩田委員の方から提案があつたんですが、私も、その方法もひとつであると考えます。先ほど私がこの委員のメンバーの時にというのも、これ、ひとつの案だということで、で、岩田委員の言われた通り確かに本当にこの年度末、コロナ、ワクチン、人事異動、様々なことを考えた時に、この委員会から次の委員会にしっかりと申し送りをして、次の委員会の方々にやっていただくというのも、これはひとつの選択肢の、重い、重いというか良い選択肢だなと思うところでございます。以上です。

○石井恵子委員長 このメンバーで一度市の現状を聞くなどの研修会を一回開こうよというのと、このまま、継続のままで次の総務企画常任委員会に渡していこうよという、2つの案がございますがいかがですか。田中副委員長。

○田中和八副委員長 私の方はですね、打ち切りも考えたんですね。ただ、打ち切っちゃうとそれこそ議論をしないうちに、何もやらないで打ち切つたという形になりますので、お話が出ているように、次の総務常任委員会に申し送りをする。これでよろしいかと思います。

○石井恵子委員長 そのほかの委員の皆さんいかがでしょうか。われわれが3月いっぱいなのか、4月いっぱいなのか、5月入っちゃうのかというところがあるわけで、そこら辺がちょっと流動的なものですから。長谷川委員。

○長谷川則夫委員 その辺は、事務的なところは事務局にお伺いしたらわかるんじゃないですか。

○石井恵子委員長 石井事務局長。

○石井治夫事務局長 一応今の総務の任期としましては、5月16日に前回就任していただいておりますので、5月15日までがひとつの区切りかなと捉えております。以上です。

○石井恵子委員長 長谷川委員。

○長谷川則夫委員 私の方から総務常任委員会の方をお願いをして、審議をしてくれということを申し上げておりますので、いろんな状況があつて審議できなかったというのは十分理解しております。そういった中で、要は当初のことから考えると、陳情が上がってきて、議会は採択をしている中で、公文書管理条例というのが出てきてますんで、これは大変申し訳ないんですけども、現状の委員の中である程度の協議はしていただきたいというのが、私の考えです。

○石井恵子委員長 そうしますと5月15日までが私たちの。ということですがいかがでしょうか。竹内委員、中川委員。はい、竹内委員。

○竹内陽子委員 私事で恐縮なんですけど、実は、明けて一昨年12月、ちょっと個人的に自分が研修会に講演で行きましたけれども、その時に公文書の、文京区、豊島区でした。ごめんなさい。そこで、それ専門の人が豊島区で採用されて、ものすごい大変だったという、それこそ庁舎内に保管する場所を、それから始まって。そんな端的に決められることではないということがよくわかりました。で、各庁内の連携も取っていかなければならないということで、非常に時間がかかることです。その資料、私持っておりますけれども、そういうことを含めたら。まず公文書というものを管理するのはどういうことかっていうことをまず全員が聞く。そういう体制をして、そこから始まるんじゃないかなと私は思いますので、一回議長がそういう、一回ははじめ付けてくださいというのであれば、それは申し送りするのか知らないけれども、それくらい大変だっていうことを思っていたら、そしてそれを、一回講習を受けて、どういう方向性で進むのかっていうことを決めていけばいいのかなと。これは大変ですよ。

○石井恵子委員長 そうしますと、いま、我々このメンバーで一度は研修会なり、市の現状を聞くなり、また、公文書管理条例とはどういったものなのかっていう勉強も含めて、一度はこのメンバーで、一回研修会をやった方がいいということですかね。

(議員全員に聞いたほうが、みんなの感覚が決まってくるんじゃないですか。との声あり)

ただ、議長から付託をされているのは総務企画常任委員会なものですから、ここが主導権を握ると思うんですが、全議員さんに当然、勉強会に参加してくださいということはお知らせしようと思いますが、そういう考えでよろしいですか。長谷川委員。

○長谷川則夫委員 うる覚えで申し訳ないんですけど、公文書管理条例に関して一回ぐらい講習をやっていないですか。

○石井恵子委員長 やりました。

○長谷川則夫委員 だから、そこは皆さん覚えていらっしゃると思うんだけど。

○石井恵子委員長 平成26年に確か、陳情か請願かが出て、採決されたんですよ。で、その後、そのときに議会として採決しているんだから、条例作りなさいよというふうに執行部に持って行ったところ、とてもじゃないけど作れませんよというお言葉に押されちゃったんですよ。でも、それはないだろうということで議会の方でそのまま持っていたような状況で、それで、1回勉強会やろうということで、笠井総務部長の時にパワーポイントを使って勉強会をしたのが平成30年だったと思います。で、そのあと総務部長が市長になられてしまって、それからは何もやってないんですね。なので、どうでしょうかね。一度研修会をやりませんか。岩田委員。

○岩田典之委員 平成30年の時には全議員を対象にして総務部長が講師をしたということなんですか。

○石井恵子委員長 そうです。血脇委員。

○血脇敏行委員 当時の笠井部長が、みんなにいろいろ説明したんですけど、それは役所の執行部側の立場としてお話をされたという記憶があります。で、あのときの、私の記憶が間違えていたらあれなんですけど、市当局では公文書管理条例を策定する予定はないというようなことだったと、私、認識しております。当時。ただ、あれからもう2年以上たっているし、当時の笠井部長も今は市長、当時の市長だった伊澤市長は、今は一般の方というようになられているんで、当時と本当に状況が変わっているんで、一度ちょっと勉強会なり、今、市の考え方はどうなっているのかとか、そういうのも確認したりとかするのもどうなのかななんて、です。

○石井恵子委員長 岩田委員。

○岩田典之委員 ちなみにですね、その30年に勉強会をして、ファイリングシステムでしたっけ、それが始まったのはいつからなんですか。そのあと。そのまえ。

○石井恵子委員長 ファイリング、ちょうど同じタイミングなんです。ファイリングシステムというのを導入するという時だったんで、じゃあ、それが導入されてちょっと様子見てみるのもいいやねって話もあったんですよ。岩田委員。

○岩田典之委員 その時期はいつかとか、今の総務常任委員会なのか、全員なのかね、次の総務常任委員会かどうかわかりませんが、一回ですね、そのときと現状とどういうふうになっているかという説明会を一回聞いてから、というのはありますけども、それは議長のもとです、総務常任委員会の方に付託をされている事案ではありますけれども、どうでしょうか。

○石井恵子委員長 竹内委員。

○竹内陽子委員 でもね、一度議長がそういう申し出をして、ここで決めるになったら、やる、やらないは別として、一回結論を出さなきゃいけないです。そして、引き渡しをしなくちゃいけない。そこだけのけじめははっきりしておきましょう。

○石井恵子委員長 結論というのはその、勉強会をすとか。

○竹内陽子委員 このメンバーの委員会では、もう時間的に出し切れないと。次に申し送りするんだ

ってというようなことをしないと、なんでこっちで言われたのに、手をこまねいたと言われてもいやですし。どうなってたんだってと言われるのも困るし。だからはっきりして、事情をきちっと精査して、そして次に渡すとか、そうしないと議長も困るでしょうから。

○石井恵子委員長 長谷川委員。

○長谷川則夫委員 今岩田議員がおっしゃったようにね、勉強会は総務主体でやることはできると思う。で、その後じゃあ、継続にしますよとか、あるいはここまでやったんで、次の総務常任委員会に付託しますか、というような話はできると思いますよ。

○石井恵子委員長 それでは、どうしますか。この、5月15日までに一度このメンバーで、市の現状を、また、ファイリングシステムの状況を聞くような研修会を一度開きますか。それをしたうえで、次の総務常任委員会に継続で送るというかたちになりますかね。一回研修会をやっただけじゃ結論は出せませんよね。どうですか。岩田委員。

○岩田典之委員 研修会も含めて次の常任委員会にですね、申し送りした方が私はいいと思いますし、それから5月15日が一応任期といってもですね、それも早くなることもあるかもしれません。はっきりこの、任期というのはいつまでというのは決まってませんのでね、2年間ということはあるとしても。それと、じゃあだれに講師をしてもらうのか、外部の方を呼ぶのか、あるいは庁舎の人から聞くのか、それも含めてですね、ちょっとですね、なかなか難しいところなので私は個人的には、次の常任委員会に申し送りした方がいいと思います。

○石井恵子委員長 いま、ふたつ分かれています。今岩田委員おっしゃったように今すべて、現状はコロナっていうのは去年からずっとこう来てね、本当に初めてのことでどうなるかわからない。このワクチンも4月の下旬に本当に高齢者に接種ができるかどうかって、今大変な状況だと思います。4月、5月にかけてもね、そういう中で市の執行部の方に来ていただいてということも、我々、このメンバーでやらなきゃいけないか、次の総務の皆さんに申し送りで勉強会から始めてやっていただくか、っていうのと、まず今メンバーで1回は何かしらやろうよということですが、どうですか。このメンバーで何もやってない訳じゃなくて、こうやって話し合いはしているんですけど。田中副委員長。

○田中和八副委員長 竹内委員がさっき言ったように非常に難しい問題なものですから、ただ単に常任委員会に付託をされているからこのメンバーで、ということ以上に次のメンバーの方に大変申し訳ないけども、このような事態だったわけなんで丸々申し送りをするという形の方がよろしいかなと思います。

○石井恵子委員長 中川議員、どうですか。

○中川勝敏委員 田中委員の意見と同じです。

○石井恵子委員長 よろしいですか。そうしますと、ほぼほぼ皆さんのご意見は、我々の任期ではなかなかもう時間が迫ってきているので、このままそっくり次の総務企画常任委員会に継続をお願いを

して進めていただくという形でよろしいでしょうか。では、そのように決定させていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後4時02分